

## 「更なる会堂建築の遅延に直面している沖縄伝道所」

大会伝道局理事長 田部郁彦

大会伝道局の働きと大会伝道地の群れのためにお祈りくださり、また尊い献金を捧げて頂いておりますことに心から感謝申し上げます。ここに昨秋以来の大会伝道局の活動の一端について報告いたします。

これまで、沖縄伝道所の土地区画整理事業にともなう、会堂・牧師館移転の計画の進捗状況につきましては順次、お伝えしてまいりました。昨年の5月発行の「大会伝道局報」第101号においても、前理事長 堤 隆 先生が報告しておられますが、その後の進捗状況などについて、ご報告いたします。この事業は、先の報告にありましたように、本来ならば2016年度には完了する見込みでしたが、区域内の河川の変更改修工事の遅延、また高圧線鉄塔の移設工事の遅延などによりまして、土地造成が停滞し、伝道所会堂建築に着手することができない状況が続いております。

昨年10月末に、事業遅延に伴う今後の損失補償、また事業の見通しなどについての協議のために、沖縄伝道所の川越弘先生、そして齋藤修理事と南安夫理事が西原町役場をたずねたところ、今後、この事業がさらに、大幅に遅延する見込みであることが判明しました。伝道所の新たな建設予定地の近隣で、沖縄県によって、ゆいレール延長工事が開始されることになり、それに伴い、仮称「てだこ浦西駅」駐車場工事及び道路延長工事が行われることになったからです。県の計画で、そちらの事業が優先されることになり、すでに西原町は事業変更の許可を受け、当該土地区画整理事業を2021年度まで繰り下げることを決定したということでありました。既に、新会堂の実施設計まで完了し、土地造成が終了次第、建築に着手す

る手はずで計画を進めてまいりましたが、それが更に先へと伸びることとなりました。この数年来、仮住まいを余儀なくされております沖縄伝道所の方々には、またしても大きな負担が強いられることになってしまいました。当然、新たな損失補償問題も生じてまいりますが、県による新たな事業が優先されることに伴い、これまで交渉の窓口であった西原町が独自に当該土地区画整理事業の見通しを立てることが困難になってしまい、今後、県の担当者との協議・交渉も視野に入れなければならないと考えています。以上のような現状を踏まえながら、忍耐強く支援を続けていきたいと考えております。

今号は、以上のように沖縄伝道所の現況報告が中心になりましたが、ここに短く2月の理事会において話し合われたことについて触れておきます。昨年の大会での理事会報告に対する質疑応答を踏まえながら大会伝道局の使命と課題について、また活動方針について協議をいたしました。その中で、教会員の高齢化、現住陪餐会員の減少、教職者の不足などの問題をはじめ、これまでの日本キリスト教会の伝道全般について、また新たな宣教理念などについても話し合われました。纏まった結論などは得られませんでした。今後の大会伝道局の使命、そしてその役割について新たな方向性を模索しなければならない時期にさしかかっていることを確認することができました。大会伝道局に託されている課題、使命の重さを改めて感じながら、日本キリスト教会の全ての群れの前進のために仕える大会伝道局でありたいと願っております。

# 大会応援伝道の報告 ～恵みのうちに～

多摩ニュータウン永山伝道所委員 金子庸雄

1986年9月に多摩市諏訪に一軒家の「家の教会」として伝道を開始して以来30年がたちました。

当時の日本はまだ高度成長期にあり、多摩ニュータウンもその名に恥じない活気のある街でした。今は若い人は少なくなり、マンションも空室が目立ち、老人の孤独死がマスコミの話題になったりしています。永山伝道所も多摩の街と同じように高齢化の波が押し寄せています。教会の現住陪餐会員は20名、礼拝出席者数も20名前後、小さな群れとして頑張っています。教会の祈りの課題として、いつも「洗礼者、信仰告白者が与えられますように！」「日曜学校の生徒が与えられますように！」と祈っています。神さまは、教会の祈りを聴いてくださり、毎年1名の洗礼者、信仰告白者を与えてくださいました。今年もイースターで1名の信仰告白者を与えられ感謝しております。

昨年10月16日（日）に札幌桑園教会の河野秀行先生にお越しいただき、「あなたの行く手を導く神」との説教題でお話ししていただきました。説教の最初に創世記32章の個所から、果たしてヤコブはヤボクの渡しを渡ったのでしょうか？それともとどまったのでしょうか？と私たちに対しての質問がありました。渡ったと手を挙げた人が半分、渡らなかったと手を挙げた人が半分いました。どちらが正解とは先生は仰りませんでした。マルコ6章、ローマ10章の聖句を取り上げながら神さまの働きを教えてくださいました。午後の講演では「イスラエル、聖書の歴史的地理的背景の旅」との題で、河野先生の体験されたイスラエルのことをスライドなどで分かりやすく解説していただきました。イスラエルの中でも、とくにエルサレムはイエス・キリストが十字架にかけられ復活、昇天した重要なところ。私たちは、スライドで学んだことによって、聖書をより深く読め

るようになるのではないかと思います。昨年、クリスマス祝会のときにもスライドを再度映して見ることができました。感謝です。

イスラエルの4000年の歴史には比較できませんが、多摩ニュータウンも変わりつつあります。旧くなった住宅を高層マンションに順次建て替えています。結果、若い子ども連れの夫婦の姿を街の中で見るようになりました。私たちの教会では、伝道の一環として毎月チラシの配布を行っています。マルコ4章に種まきのたとえとして「～あるものは30倍、あるものは60倍、あるものは100倍になった。」とあります。聖書のみ言葉を信じ、これからも続けていきたいと思えます。また多摩ニュータウン地域には、教派、教団を超えた10もの協力教会があります。イースターの朝6時から早朝合同礼拝をしたり、昨年は稲城市のホールを借りてはじめて音楽会を開催し、教会としてチケットの販売をしたり、当日会場のお手伝いをし、400人収容のホールを一杯にすることができ、ベアンテ・ボーマンの合同音楽会を成功裏に開催することができました。感謝です。

これから周りの環境が変わっても、神さまの恵みのなか、しっかりとイエス・キリストの十字架の栄光を表す教会として、多摩ニュータウン永山の地に立っていきたく思います。みなさまの祈りに加えていただければ幸いです。



多摩ニュータウン永山伝道所

# 会計報告、教会別献金総額

## 会計報告

(単位：円)

| 科 目     | 2016年<br>予 算 | 2016年<br>決 算 | 2017年<br>予 算 | 備考   |
|---------|--------------|--------------|--------------|------|
| (収入の部)  |              |              |              |      |
| 大会伝道献金  | 6,734,000    | 6,645,550    | 6,400,000    | 134件 |
| 個人団体献金  | 3,000,000    | 2,689,610    | 2,500,000    | 131件 |
| 雑収入     | 1,000        | 133          | 500          |      |
| 運用資金より  | 0            | 1,576,567    | 1,500,000    |      |
| 前期繰越金   | 1,000,000    | 20,498       | 300,000      |      |
| 合 計     | 10,735,000   | 10,932,358   | 10,700,500   |      |
| (支出の部)  |              |              |              |      |
| 伝道地補助金  | 7,290,000    | 7,490,000    | 7,290,000    | (注1) |
| 大会応援伝道費 | 1,000,000    | 511,865      | 1,000,000    |      |
| 問安費     | 600,000      | 849,614      | 600,000      | (注2) |
| 開拓伝道準備費 | 100,000      | 0            | 100,000      |      |
| 事務費     | 500,000      | 515,669      | 400,000      |      |
| 理事会費    | 900,000      | 1,078,369    | 900,000      |      |
| 伝道局基金繰入 | 0            | 0            | 0            |      |
| 予備費     | 345,000      | 0            | 410,500      |      |
| 次期繰越金   |              | 486,841      |              |      |
| 合 計     | 10,735,000   | 10,932,358   | 10,700,500   |      |

(注1) 「伝道地補助金」(7,290,000円)

沖縄伝道所 240,000円 x 16月=3,840,000円

岡山伝道所 200,000円 x 16月=3,200,000円

九州中会への旅費補助 250,000円

沖縄伝道所 乗用車購入補助 200,000円 (2016年購入)

(注2) 「問安費」(600,000円)

大会伝道地の沖縄伝道所と岡山伝道所への問安

沖縄伝道所の移転交渉等の旅費交通費

## 2016年度教会別献金総額

(2016年12月1日～12月31日)

| 教会名     | 24      | 31              |
|---------|---------|-----------------|
| 1 函館相生  | 157.600 | 24 帯広 31.600    |
| 2 札幌北一条 | 619.300 | 25 北広島山手 33.300 |
| 3 小樽シオン | 75.800  | 26 奈井江 9.700    |
| 4 旭川    | 101.900 | 27 夕張 8.300     |
| 5 北見    | 68.700  | 28 森 2.700      |
| 6 遠軽    | 38.700  | 29 美瑛 4.100     |
| 7 滝川    | 65.000  | 30 札幌手稲前 5.500  |
| 8 聖園    | 27.100  | 31 北檜山 5.500    |
| 9 室蘭    | 101.900 | 32 大森 200.000   |
| 10 伊達   | 40.400  | 33 蒲田御園 142.500 |
| 11 美深   | 8.800   | 34 鶴見 378.650   |
| 12 苫小牧  | 54.500  | 35 横浜長老 151.100 |
| 13 遠浅   | 42.200  | 36 横須賀 28.100   |
| 14 札幌琴似 | 181.400 | 37 湘南 84.200    |
| 15 札幌桑園 | 127.800 | 38 秋田 70.400    |
| 16 札幌豊平 | 47.500  | 39 柏木 401.200   |
| 17 札幌登寒 | 66.600  | 40 栃木 92.100    |
| 18 釧路   | 42.200  | 41 小山 19.300    |
| 19 札幌白石 | 38.700  | 42 浦和 209.500   |
| 20 森林公園 | 49.200  | 43 房総君津 64.600  |
| 21 稚内萩見 | 22.800  | 44 横浜海岸 347.700 |
| 22 富良野  | 28.650  | 45 茅ヶ崎東 153.900 |
| 23 佐呂間  | 22.800  | 46 豊島北 66.600   |
|         |         | 47 鎌倉栄光 109.700 |

|          |         |           |           |
|----------|---------|-----------|-----------|
| 48 世田谷千歳 | 89.900  | 94 豊中央    | 62.700    |
| 49 習志野   | 113.600 | 95 宝塚売布   | 74.400    |
| 50 南浦和   | 94.000  | 96 西宮中央   | 263.500   |
| 51 南柏    | 92.100  | 97 夙川     | 107.800   |
| 52 東京主僕  | 95.600  | 98 住吉     | 78.400    |
| 53 小平    | 133.200 | 99 神戸布引   | 49.200    |
| 54 袋井愛野め | 26.400  | 100 神戸湊西  | 115.600   |
| 55 東京告白  | 20.100  | 101 明石大久保 | 60.700    |
| 56 仙台黒松  | 103.800 | 102 新宮    | 78.400    |
| 57 宇都宮松原 | 55.100  | 103 出雲今市  | 24.600    |
| 58 磐田西   | 45.700  | 104 尾道西   | 28.800    |
| 59 大和    | 78.400  | 105 徳島    | 42.000    |
| 60 上田    | 56.600  | 106 観音寺   | 25.200    |
| 61 荻窪北   | 29.900  | 107 高知旭   | 50.000    |
| 62 上溝    | 14.000  | 108 加西    | 34.700    |
| 63 大宮東   | 8.300   | 109 熊野    | 11.100    |
| 64 静岡池田  | 28.600  | 110 宇久井   | 8.300     |
| 65 恵泉    | 13.900  | 111 広島長束  | 51.000    |
| 66 東京中央  | 26.400  | 112 岡崎    | 5.000     |
| 67 金目    | 9.700   | 113 近江草津  | 6.900     |
| 68 稲田堤   | 25.000  | 114 奈良    | 8.300     |
| 69 西経堂   | 15.200  | 115 泉北    | 15.500    |
| 70 古河    | 13.900  | 116 神戸桜が丘 | 25.000    |
| 71 郡山    | 8.300   | 117 姫路    | 9.700     |
| 72 下館    | 8.300   | 118 岡山    | 20.800    |
| 73 福島    | 12.500  | 119 米子    | 15.200    |
| 74 多摩ニュー | 27.800  | 120 高松    | 20.800    |
| 75 志木北   | 38.000  | 121 福岡城南  | 166.000   |
| 76 つくばひた | 16.600  | 122 小倉    | 23.000    |
| 77 府中中河原 | 71.000  | 123 大分中央  | 27.300    |
| 78 雲雀ヶ丘  | 20.000  | 124 島原    | 16.000    |
| 79 名東    | 201.000 | 125 柳川    | 22.800    |
| 80 岐阜    | 91.200  | 126 志免    | 19.000    |
| 81 大垣    | 86.000  | 127 下関    | 48.500    |
| 82 大垣荒尾  | 36.700  | 128 福岡筑紫野 | 18.000    |
| 83 亀山    | 26.400  | 129 佐賀めぐみ | 35.300    |
| 84 福井宝永  | 26.400  | 130 久留米   | 42.200    |
| 85 吉田    | 84.200  | 131 長崎    | 41.800    |
| 86 西都    | 115.600 | 132 熊本    | 5.500     |
| 87 高槻    | 86.200  | 133 八女    | 10.000    |
| 88 香里園   | 95.500  | 134 沖縄    | 0         |
| 89 大阪北   | 106.900 | 135 宜野湾告白 | 8.100     |
| 90 大阪西   | 146.800 | 136 折尾    | 13.900    |
| 91 大阪姫松  | 228.000 | 137 近畿中連婦 | 52.000    |
| 92 北田辺   | 1.760   | 139 九州中連婦 | 10.000    |
| 93 池田    | 107.800 | 総 合       | 9,335,160 |

# 大会応援伝道の報告 大分中央教会

大分中央教会長老 秦 博 記

2016年11月27日（日）、特別伝道礼拝として行われました。

教会員の高齢化が進む中、若手会員が与えられず、教会の信仰継承にとっていささかの懸念が感じられる昨今。今回の特伝は概ね50歳代以下の青壮年層への働きかけに重点を置くという方針のもとに準備を進めました。そのため、同年代の講師をと願い、北海道は北広島山手伝道所の秋本英彦牧師に遠路ご奉仕願うことになりました。初心者にもなじみ易い言葉と、明瞭な口調で語りかける秋本先生の説教は、出席者に爽やかな感動を与えてくださいました。

特伝の二ヶ月前、求道者名簿により約80通の葉書による案内状を送りました。そして、一ヶ月前、その名簿の中から概ね50歳代以下の方約40名を抜き出して作成した「重点者名簿」により、トラクトを同封して案内状を送りました。さらに、二週間前、同じ「重点者名簿」により、トラクトの内容を書き換えて、再度案内状を送りました。また今回は、ポスターやトラクトに林竹治郎画伯の「朝の祈り」をイメージ画として使わせてもらいました。その絵に描かれた円い「ちゃぶ台」の中心に主イエスがおられ、誰もがそこに招かれていることを表現したかったからです。

求道者6名、他教会員3名を含む22名の出席がありました(通常の礼拝は12～3名)。求道者の内訳は、教会員の家族・親族3名、教会員の友人3名。年代別では40代、50代各1名と60代4名でした。重点目標であった若年層の出席はいまいちでしたが、60代出席者の中から一名が導かれ、今年のイースターに洗礼式が行われました。聖霊の不思議なお働きに、あらためて驚嘆を禁じえません。また、全国の諸教会、諸兄弟姉から励ましと祈りの書状をいただきました。ありがとうございます

ました。

最後にポスターにまつわる“壮絶なバトル”の報告をしておきます…大分市の中心部8か所の公設掲示板にポスターを掲示したのですが、1ヶ月弱の間に7回、ポスターが故意に剥がされ、そのたびに市役所の掲示許可を受けて、貼り直すという作業を繰り返すことになりました。間違いなく迫害があります。しかし粛々とあきらめずに宣教の御業に与かるよう、身の引き締まるような主の諭しを受けることができました。感謝。



何度も剥がされたポスター

## 今年度後半の大会応援伝道

長崎伝道所

6月18日（日）

講師 八田牧人（札幌発寒教会牧師）

滝川教会

6月25日（日）

講師 小野寺ほさな（荻窪北教会牧師）